



6月5日(月)～16日(金)まで、高等部では前期産業現場等における実習が行われました。この2週間、高等部の生徒全員が「働くこと」について考え、これまで学校で身に付けたことを発揮しながら、様々な作業に取り組みました。産業現場等における実習については、来月の進路ジャーナルでお伝えしますが(ホームページにも一部掲載していますのでご覧ください)、どの生徒も、働くことの大変さや、繰り返し取り組むことで上達していく楽しさなどを感じた2週間となりました。一方で、実習先で自分の課題に気付いた生徒もいました。「作業すること」そのものは得意でも、言葉遣いや姿勢、慣れない相手とのコミュニケーションをはじめ、長い時間働き続ける体力など、生徒たち自身が課題に気づき、それを改善しようと考えているようです。

実習は、学校の学習です。貴重な2週間なので、成功するに越したことはありませんが、うまくいかないからこそ、「次へ向けてがんばろう」という気持ちが芽生えてきます。また在学中だからこそ、学習活動の中で、改善に向けて取り組むことができると感じています。

また、この前期実習をきっかけに、学習に向かう態度が意欲的になった生徒や、自分の進路について考えるようになった生徒など、それぞれに成長を感じます。子どもたちの将来の可能性を広げることができるよう、学校では日々の学習に力を入れていきたいと思っています。それと同時に、子どもたちの将来の選択肢を広げるために、情報提供にも力を入れていきたいと考えています。

7月には、福祉施設合同説明会を予定しています。イメージとしては、デパートで行われる「物産展」の福祉施設バージョンといったところでしょうか?いくつかの福祉施設が、体育館内にブースを設けていますので、気になるブースを訪問して、施設の旬の情報を聞くことができます。



今回予定している事業所は、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、生活介護事業所、就労移行支援事業所等です。他にもグループホームや入所施設のある事業所も予定していますので、ぜひご参加ください。



お知らせ

「福祉施設合同説明会」を開催します。

日時 : 令和5年7月14日(金) 11:30～

場所 : 本校体育館

参加事業所 : 西北地区の福祉事業所

対象者 : 本校児童生徒、保護者

※詳細は、配付のお便りをご覧ください。

就労継続支援 A 型事業所

福祉施設の事業の一つ。利用者と福祉サービスを提供する事業者との間で雇用契約を締結します。この契約に基づいて、事業所で就労の機会を提供するものです。この就労によって一般企業



に向けた知識や能力の向上を図ります。また、雇用契約を結ぶので、最低賃金（青森県の現在の時給額853円）が保障されます。また、就労扱いとなるため、相談支援事業所だけではなく、ハローワークの求職登録などの手続きが必要となります。

就労継続支援 B 型事業所

福祉施設の事業の一つ。雇用契約は結ばないで、通所によって生産活動の機会を提供する事業です。一般企業への就労に必要な知識・能力が認められた人には一般就労における支援が行われることになっています。軽作業から施設外就労など事業所により多種多様です。卒業直後からの利用にあたっては、在学中に1~2週間程度のアセスメント実習を実施する必要があります。アセスメント実習については高等部第3学年で実施しています。



生活介護



常時介護を必要とする人が安定した生活を営むために、主として施設にて食事、排せつなどの介護のほか、創作活動や生産活動の機会を提供します。利用期限は定められていません。サービス内容は事業所によって送迎・作業・余暇活動・運動プログラム・機能訓練など様々で、本人のニーズに合った施設選びが重要となってきます。

就労移行支援

様々な障害のある方の一般企業への就職をサポートする通所型の福祉サービスです。原則2年間の利用期限があります。就労継続支援事業所や一般企業への就労につなぐことができます。就労に必要な職業スキルや社会性、基礎生活力を身に付けるために、施設内で講座や職業訓練を受けたり、事業所での実習を行ったりします。また、就職活動のサポートとして、適性に合った職場探しや就職後の定着支援なども行います。



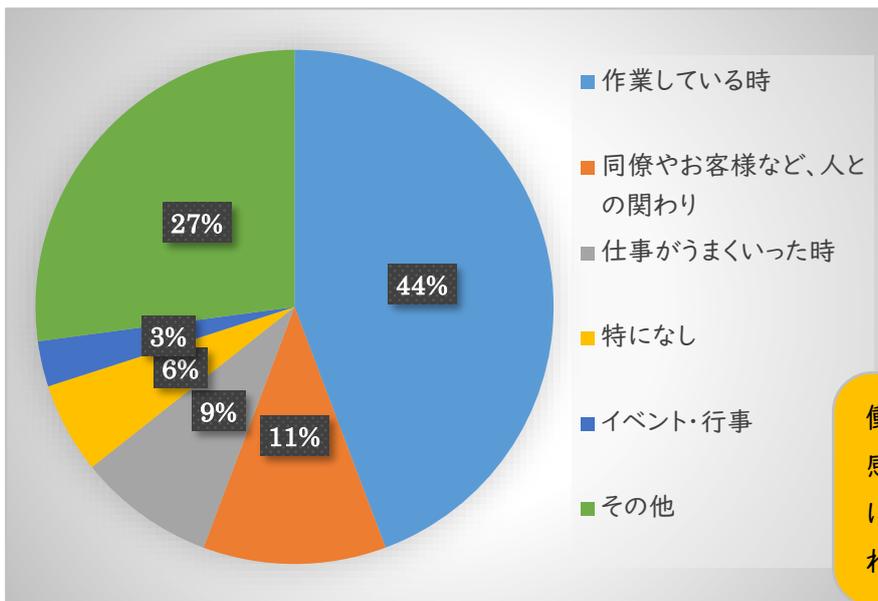
お仕事アンケート集計結果

昨年度末、本校児童生徒のキャリア教育の一環として、障害者支援施設で働く方々に向けて、アンケートを実施しました。普段、「仕事をしていてどのようなことを感じているのか」を知ること、「働くこと」や「卒業後の姿」に対する興味関心をもったり、自分たちの将来について考えたりするきっかけづくりとして参考になればと思います。

ご協力いただいたのは71名の西北地域の就労継続支援B型事業所のみなさんです。



①仕事をしていて楽しいと思うことはなんですか？



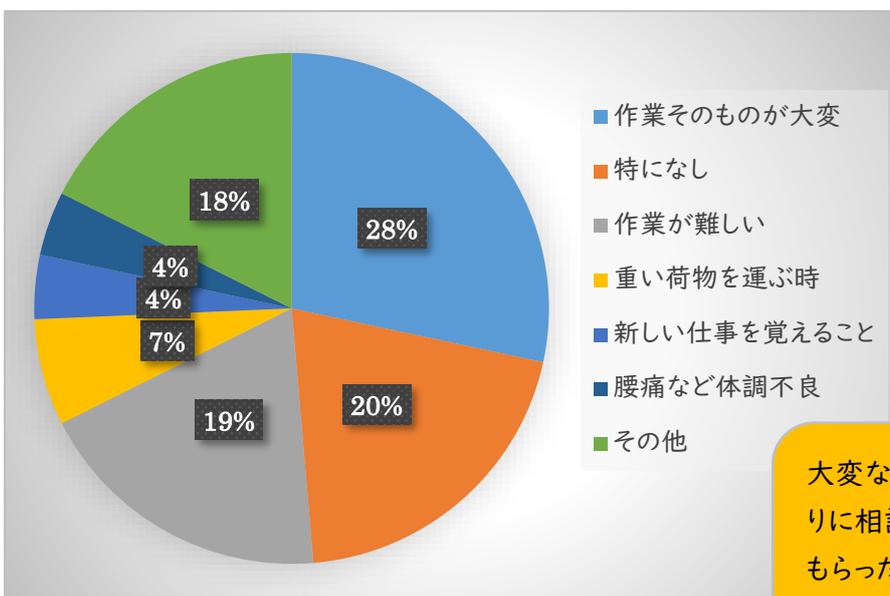
【その他】

- ・褒められた時
- ・昼休みにゲームすること
- ・思い通りにできた時
- ・人の役に立った時
- ・自分がつくった商品を見てもらった時
- ・ここにいるだけで楽しい

働くことで得られる充実感や有用感などが、“楽しい”という気持ちにつながっているのかもしれないね!



②仕事をしていて大変だと思うことはなんですか？



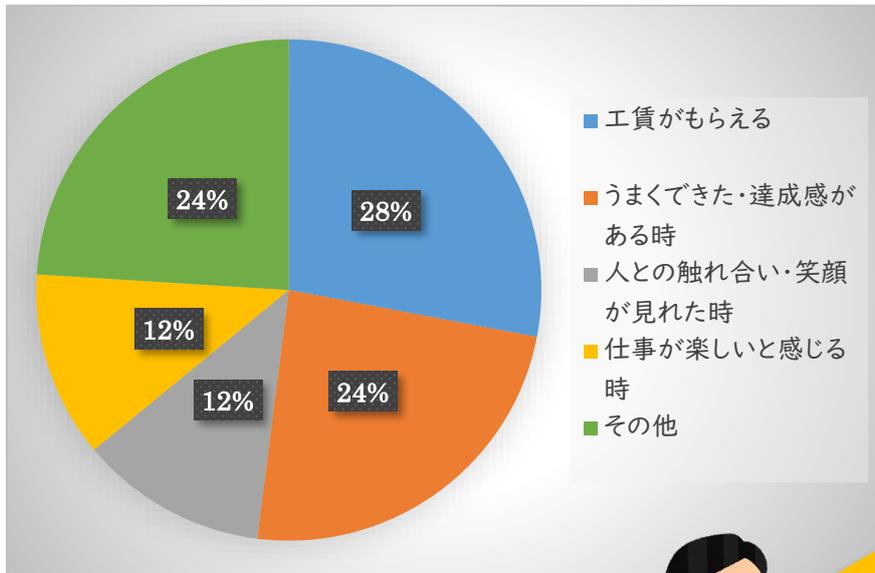
【その他】

- ・時間に束縛されること
- ・仕事が多い時
- ・仕事がない時
- ・作業中に眠くなること
- ・利用者との考え方の違い
- ・立ち仕事辛い
- ・掃除 など

大変な時、困った時は周りに相談したり、助けてもらったりして解決していくことが大切だよ!



③仕事をしていたよかったなと思う時はどんな時ですか？



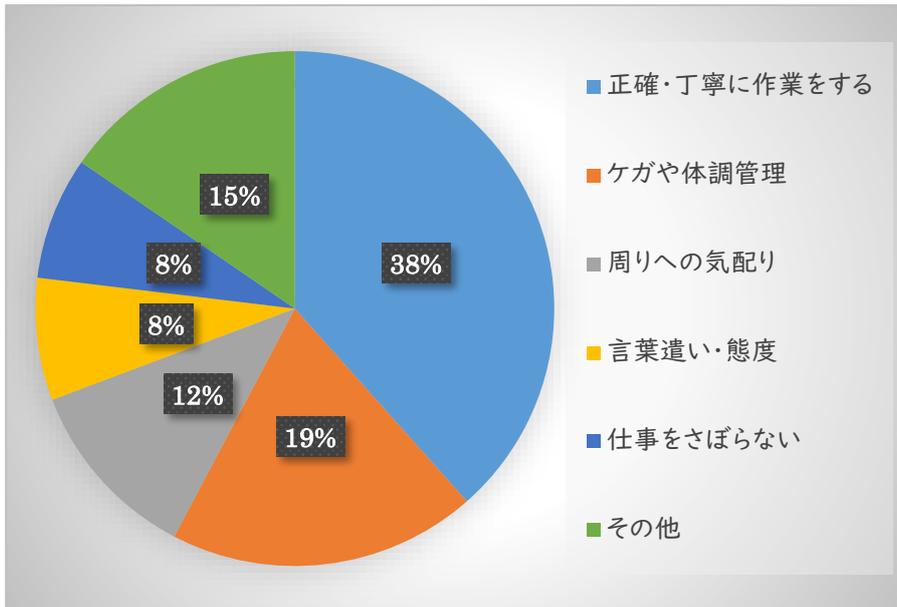
【その他】

- ・誰かの役に立てていること
- ・友達がたくさんできた
- ・力がついたと感じた時
- ・周りの人が助けてくれた時
- ・年は関係ないと思えた時
- ・仕事の後のご褒美 など

工賃がもらえる喜びだけでなく、「上手にできた」「ほめられた」「誰かが喜んでくれた」などの達成感を感じた時に働く喜びを感じられるんだね！



④仕事をするときに気を付けていることはなんですか？



【その他】

- ・人の話をしっかり聞く
- ・時間を守る
- ・身だしなみ、清潔感
- ・失敗をおそれない
- ・私語をしない
- ・ぼーっとしない など



正確に、丁寧に作業をすることで「上手くできた」「ほめられた」という気持ちになり、また次に頑張ろうとするモチベーションにつながるのかもしれないね！



 森田養護学校のみなさんにメッセージをいただきました。 



将来の夢に向かって一歩ずつ歩んでください。

もし一緒に仕事するようになったら一緒に楽しみましょう



学校生活全力で楽しんで!!勉強がんばってください。

何事にもチャレンジ精神を忘れないことです。



みなさんが多くの人に幸せを届けられるよう心より応援しています。

ご協力いただいた事業所のみなさん、ありがとうございます。これからもお体に気を付けて、お仕事楽しんでください。ご活躍をお祈りしています。

～胸懐～

先日、県内にある某企業のT社長が来校されました。本校の卒業生が、他の社員の見本となるほどに頑張っているとの言葉に、とても嬉しくなりました。

その企業は、国内に10の拠点があり、126名の障害者を雇用している大企業です。経営理念として、「一歩、一歩、成長を続けること」「明るく元気に互いに助け合うこと」「お客さまも自分も納得できる仕事をする事」の3つをあげているとのことでした。T社長は、「障害があってもなくても、働いてから喜びを感じながら、一歩、一歩成長していける職場でありたい」と力強くお話されていました。

最初は、働いている先輩や上司への憧れからスタートするのもかもしれませんが、障害があってもステップアップをしていくことはできるのではないかと感じています。そのためには、今、学校の場合、また家庭において、「学ぶこと」「挑戦すること」「できるようになること」は楽しいと感じられるような働きかけをして、将来に備えていく必要があるなと強く感じました。

※胸懐:胸の内 心の思いのこと。日々の指導の中でふと思ったことを記しました。